

# 令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	社会（地理的分野・歴史的分野）
教科担当	仲村哲一、仲間賢治		
教科書名	中学生の地理（帝国書院）、中学生の歴史（帝国書院）		
副教材	よくわかる社会の学習地理1、よくわかる社会の学習歴史1		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

## 1 (社会)科の目標と評価について

教科の目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の観点	<p>(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。(知識・技能)</p> <p>(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。(思考・判断・表現)</p> <p>(3)社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
評価方法	<p>ペーパーテスト、生徒の反応やワークシート、振り返り、作品等の評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価を行う。</p>

## 2 (社会)科の学習について

授業の進め方	<p>(1)授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。きれいにまとめられるようにしましょう。</p> <p>(2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。</p> <p>(3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。</p> <p>(4)実社会と関連付けて、社会的事象に対する見方や考え方を育てます。</p> <p>(5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>
定期テスト	<p>○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容などを中心に出题します。</p> <p>○テストに際しては、教科書の説明で使用したプリントやデジタルコンテンツなどについても出题することもあります。</p> <p>○統計資料や史料などを用いた「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出題します。</p> <p>○「知識・技能」、「思考・判断・表現」の2つの観点に分けて出题します。</p> <p>○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。</p>

### 3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	第1部 第1章 世界の姿	指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。	国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。	地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究している。
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題	定期テストI、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストI(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI(6月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
4月	単元名(題材名)	第1部 第2章 日本の姿	指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中の日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。	世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。	世界の中での日本の位置や広がりについて関心を持ち、地球儀や地図を活用し、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題	定期テストI、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストI(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI(6月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
5月	単元名(題材名)	第2部 第1章 人々の生活と環境	指導時数	8時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。	世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心を持ち、主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題	定期テストI、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストI(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5・7時)	定期テストI(6月)、ロイロノート課題(第2・4・6時)、振り返り(第8時)	生徒の反応(第8時)、振り返り(第8時)

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その②）

6月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第1節 アジア州		指導時数	7時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。	アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。	急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(9月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5時)	単元テスト(9月)、ロイロノート課題(第2・4・6時)、振り返り(第7時)	生徒の反応(第7時)、振り返り(第7時)	
7月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第2節 ヨーロッパ州		指導時数	6時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。	国どうしや他地域との結び付きに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(9月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5時)	単元テスト(10月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第6時)	生徒の反応(第6時)、振り返り(第6時)	
9月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第3節 アフリカ州		指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。	輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察している。	ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト(9月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト(10月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その③）

9月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第4節 北アメリカ州	指導時数	5時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化する工業について理解している。	北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。	世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関する課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	単元テスト(9月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト(10月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
10月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第5節 南アメリカ州	指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。	ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。	近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
10月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第6節 オセアニア州	指導時数	3時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結び付く産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。	オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その④）

11月	単元名(題材名)	第1部 第1節 歴史の流れと時代区分	指導時数	2時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。	時期や年代, 推移, 現在の私たちとのつながりなどに着目して, 歴史上の人物や文化財, 出来事などから適切なものを取り上げ, 時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	過去を継承しつつ, 現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
11月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた	指導時数	3時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって, 具体的なことからとの関わりの中で, 地域の歴史について調べたり, 収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身につけている。	比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して, 地域に残る文化財や諸資料を活用して, 身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し, 表現している。	身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心を持ち, 身近な地域の歴史について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
11月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第1節 人類の登場から文明の発生へ	指導時数	5時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	古代文明の特色を, 巨大な遺跡と文字や暦の発達に着目して読み取るとともに, 宗教が生まれてきた背景を古代文明の発達との関わりから理解し, 諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ, まとめている。	古代文明が発生した理由を, 農耕や牧畜の始まりと環境との関わりに着目して考察し, 共通点に気づき事象を相互に関連付けるなどして, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	世界の古代文明や宗教のおこりについて, よりよい社会の実現を視野に, そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その⑤）

12月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第2節 東アジアの中の倭(日本)	指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	日本列島における農耕の始まりと人々の生活の変化、ヤマト王権の勢力の拡大などを基に、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	農耕の広まりや生産技術の発展に渡来人が果たした役割に着目し、人々の生活や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
12月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第3節 中国にならった国家づくり	指導時数	5時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	律令国家の確立に至るまでの過程を基に、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	東アジアとの接触や交流に伴う日本の政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
12月	単元名(題材名)	第2部 第1章 第4節 展開する天皇・貴族の政治	指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	平安時代は、藤原氏の皇室との姻戚関係や広大な荘園の所有を背景に摂関政治が展開され、政治の実権が天皇から貴族に移行していったことを理解しているとともに、平安時代の文化の特色を、諸資料から適切に読み取りまとめることができる。	平安京への遷都や密教の興隆、国風文化の形成に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その⑥）

1月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第1節 武士の世の始まり	指導時数	5時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	鎌倉幕府の成立により、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広がったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	武士の政治への進出と政治の展開、貴族の政治との違いに着目して、武家政権の特徴を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	武家政権の成立とユーラシアの交流について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)
2月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第2節 武家政権の内と外	指導時数	4時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	蒙古襲来が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などの知識を基に、武家政治が東アジア世界と密接な関わりを持ちながら展開していったことを理解し、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	蒙古襲来をモンゴル帝国の拡大の一環としてとらえるとともに、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	単元テスト(3月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト(3月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)
2月	単元名(題材名)	第2部 第2章 第3節 人々の結び付きが強まる社会	指導時数	6時間
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	概ね満足な姿(B規準)	農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会の変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	室町時代に農業や商工業が発達した理由や、民衆の成長が社会に与えた影響を、生産力の高まりと交通の発達に着目して考察し、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り
	評価時期及び評価場面	単元テスト(3月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5時)	単元テスト(3月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第6時)	生徒の反応(第6時)、振り返り(第6時)

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。



# 令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	社会（地理的分野・歴史的分野）
教科担当	安慶田一貴、仲間賢治		
教科書名	中学生の地理（帝国書院）、中学生の歴史（帝国書院）		
副教材	よくわかる社会の学習地理2、よくわかる社会の学習歴史2・3		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

## 1 (社会) 科の目標と評価について

教科 目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価 の 観点	<p>(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。(知識・技能)</p> <p>(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。(思考・判断・表現)</p> <p>(3)社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
評価 方法	<p>ペーパーテスト、生徒の反応やワークシート、振り返り、作品等の評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価を行う。</p>

## 2 (社会) 科の学習について

授 業 方 の 進 め	<p>(1)授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。きれいにまとめられるようにしよう。</p> <p>(2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。</p> <p>(3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。</p> <p>(4)実社会と関連付けて、社会的事象に対する見方や考え方を育てます。</p> <p>(5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>
定期 テスト	<p>○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容などを中心に出题します。</p> <p>○テストに際しては、教科書の説明で使用したプリントやデジタルコンテンツなどについても出题することもあります。</p> <p>○統計資料や史料などを用いた「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出題します。</p> <p>○「知識・技能」、「思考・判断・表現」の2つの観点に分けて出题します。</p> <p>○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。</p>

### 3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	第1章 身近な地域の調査		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目し、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題	定期テストI、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI(6月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
4.5月	単元名(題材名)	第2章 日本の地域的特色		指導時数	12
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。また、日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題	定期テストI、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・5・7・9・11時)	定期テストI(6月)、ロイロノート課題(2・4・6・8・10・12時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第12時)、振り返り(第12時)	
5.6月	単元名(題材名)	九州地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解している。	自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察している。	九州地方の自然環境と生活、産業との関係について関心をもち、九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題	定期テストI、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3・4時)	定期テストI(6月)、ロイロノート課題(第2・4・5時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その②）

6.7月	単元名(題材名)	中国・四国地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。	他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。	中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心を持ち、それを主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅠ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅠ(6月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅠ(6月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	
7月	単元名(題材名)	近畿地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解している。	自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察している。	自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心を持ち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2・4時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	
9月	単元名(題材名)	中部地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。	中部地方の三つの地域において、さかんな産業に違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察している。	産業の視点からみた中部地方の特色に関心を持ち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その③）

9月	単元名(題材名)	関東地方		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。	関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に注目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第6時)	生徒の反応(第6時)、振り返り(第6時)	
9.10月	単元名(題材名)	東北地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。	東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。	東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	
10月	単元名(題材名)	北海道地方		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。	産業や開発の歴史に関する特色あることから注目して、自然環境や外国とのかかわりなど関連づけて多面的・多角的に考察している。	自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち、北海道地方の特色を主体的に追究している。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第5時)	生徒の反応(第5時)、振り返り(第5時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その④）

11月	単元名(題材名)	地域の在り方		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地域の実態や課題解決のための取組を理解している。	地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(11月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(11月)、ロイロノート課題(第3時)	生徒の反応(第3時)	
11月	単元名(題材名)	武士による全国支配の完成		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。	統一政権の諸政策の目的に着目し、江戸幕府により全国を支配する仕組みがつけられ、安定した社会が構築されたことなどを、事象を相互に関連づけるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。	江戸幕府の成立と対外関係について、章の問いと関連づけながら「江戸幕府はどのようにして「全国を支配したのだろうか」という節の問いを主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(12月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(12月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
11月	単元名(題材名)	天下泰平の世の中		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	身分制と農村のようすをもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりをもとに、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、都市や農村における生活、文化など近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	産業の発達と町人文化などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ(12月)、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅡ(12月)、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その⑤）

11.12月	単元名(題材名)	社会の変化と幕府の対策		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会の変化と幕府の政策の変化に着目して、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それらの背景として百姓一揆がおこったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
12月	単元名(題材名)	欧米諸国における「近代化」		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米における近代社会の成立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
12月	単元名(題材名)	開国と幕府の終わり		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その⑥）

1月	単元名(題材名)	明治政府による「近代化」の始まり		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	富国強兵・殖産興業政策, 文明開化の風潮などをもとに, 明治維新によって近代国家の基礎が整えられて, 人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに, 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	明治政府の諸改革の目的に着目して, 諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響, 明治維新について, 近世の政治や社会との違いに着目して, 近世から近代への転換のようすを考察したりするなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	明治維新と近代国家の形成について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
2月	単元名(題材名)	近代国家への歩み		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	自由民権運動, 大日本帝国憲法の制定をもとに, 立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに, 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	議会政治や政治の展開に着目して, 世界との関係や, 現代の政治とのつながりを考察するなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	議会政治の始まりについて, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
2月	単元名(題材名)	帝国主義と日本		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	条約改正, 日清・日露戦争などをもとに, 日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに, 諸資料からD259:I263歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	外交や戦争の展開に着目して, 世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	国際社会との関わりについて, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その⑦）

2.3月	単元名(題材名)	アジアの強国の光と影		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	近代化がもたらした文化への影響に着目して、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	単元テスト、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	単元テスト、ロイロノート課題(第2時)、振り返り(第3時)	生徒の反応(第3時)、振り返り(第3時)	
○月	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				
○月	単元名(題材名)			指導時数	
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)				
	評価方法				
	評価時期及び評価場面				

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

# 令和7年度 浦添中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	社会（歴史的分野・公民的分野）
教科担当	大浦誠、平安山大賀		
教科書名	中学生の歴史（帝国書院）、新しい社会公民（帝国書院）		
副教材	よくわかる社会の学習歴史2・3、よくわかる社会の学習公民		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦添中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

## 1 (社会)科の目標と評価について

教科の目標	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を迫りたり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の観点	<p>(1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。(知識・技能)</p> <p>(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。(思考・判断・表現)</p> <p>(3)社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>
評価方法	<p>ペーパーテスト、生徒の反応やワークシート、振り返り、作品等の評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価を行う。</p>

## 2 (社会)科の学習について

授業の進め方	<p>(1)授業は、プリントやノートで様々な課題を提示します。きれいにまとめられるようにしよう。</p> <p>(2)単なる暗記ではなく、地図や統計資料、写真等から何が読み取れるかを考えよう。</p> <p>(3)ICT機器を活用し、視覚的にわかるように授業を展開します。</p> <p>(4)実社会と関連付けて、社会的事象に対する見方や考え方を育てます。</p> <p>(5)探求型の学習をできるだけ取り入れ、お互いの意見や考えを交流させ、再度自分の考えを練り直すような「主体的で対話的な深い学び」を実践します。</p>
定期テスト	<p>○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容などを中心に出题します。</p> <p>○テストに際しては、教科書の説明で使用したプリントやデジタルコンテンツなどについても出题することもあります。</p> <p>○統計資料や史料などを用いた「思考力・判断力・表現力」を問う問題を出题します。</p> <p>○「知識・技能」、「思考・判断・表現」の2つの観点に分けて出题します。</p> <p>○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。</p>

### 3 年間指導計画（その①）

4月	単元名(題材名)	帝国主義と日本		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	条約改正,日清・日露戦争などをもとに,日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに,諸資料からD259:I263歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	外交や戦争の展開に着目して,世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど,事象を相互に関連付けるなどして,近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し,表現している。	国際社会との関わりについて,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題	定期テストI、ロイロノート課題や振り返り	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
	単元名(題材名)	アジアの強国の光と影		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化,学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに,日本で近代産業が発達し,近代文化が形成されたことを理解しているとともに,諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	近代化がもたらした文化への影響に着目して,産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど,事象を相互に関連付けるなどして,近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し,表現している。	近代産業の発達と近代文化の形成について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストI、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
	単元名(題材名)	第一次世界大戦と民族独立の動き		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	第一次世界大戦の背景とその影響,民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に第一次世界大戦前後の動きと我が国の動きなどを理解している。	世界の動きと日本の関係に着目して,第一次世界大戦による世界の変化や影響を考察するなど,事象を相互に関連付けるなどして,近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し,表現している。	第一次世界大戦前後の国際情勢について,よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストI、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その②）

5月	単元名(題材名)	高まるデモクラシーの意識		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	世界の動きとわが国の関係に着目して、第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストI、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
	単元名(題材名)	戦争に向かう世論		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストI、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
	単元名(題材名)	第二次世界大戦の惨禍		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民の生活などをもとに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている	世界の動きと日本との関連に着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	第二次世界大戦と人類への惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストI、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その③）

	単元名(題材名)	敗戦から立ち直る日本		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	日本の民主化と再建の過程, 冷戦などをもとに, 第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに, 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	諸改革の展開と国際社会の変化に着目して, 諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかわりについて考察するなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	日本の民主化と冷戦下の国際社会について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストI、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
6月	単元名(題材名)	世界の多極化と日本の成長		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	高度経済成長, 国際社会とのかわりなどをもとに, 日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに, 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	政治の展開と国民生活の変化に着目して, 国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。	日本の経済の発展について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストI、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
	単元名(題材名)	これからの日本と世界		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	冷戦の終結をもとに, 国際協調の平和外交の推進, 開発途上国への援助などもふまえ, 国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに, 諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	政治の展開と国民生活の変化に着目して, 国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど, 事象を相互に関連付けるなどして, 現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している	グローバル化する世界について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストI、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストI、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストI、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その④）

7月	単元名(題材名)	現代社会の特色		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	現代日本の特色として情報化、グローバル化、少子高齢化などが見られることについて理解している。	位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、情報化、グローバル化、少子高齢化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	私たちが生きる現代社会の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に追究し、自分たちの生活地域や社会に関わろうとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題(第1・3時)	定期テストⅠ、ロイロノート課題(第4時)、振り返り(第4時)	生徒の反応(第4時)、振り返り(第4時)	
	単元名(題材名)	私たちの生活と文化		指導時数	2
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	現代社会における文化の意義や影響および日本の文化の特色を、地域の伝統文化や無形文化遺産、日本のアニメーションなど、文化の多彩な側面から理解している。	文化の継承と創造の意義について考察するとともに、異文化理解が求められている理由を、さまざまな資料を活用しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。	私たちが生きる現代社会と文化の特色について、自分たちの生活する地域や社会に関わりながら現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	
	単元名(題材名)	現代社会をとらえる枠組み		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。	社会生活における物事の決定のしかた、きまりを通した個人と社会との関係、きまりの役割について、事例の評価や合意案の作成と修正を通して、「効率と公正」などの見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察し、表現している。	現代社会をとらえる枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その⑤）

9月	単元名(題材名)	民主主義と日本国憲法		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	立憲主義の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法の三大原理、国民主権の意義と天皇の地位について理解し、その知識を身に付けている。	民主的な社会生活に関わるさまざまな事象から学習課題を見出し、「対立と合意」「効率と公正」「個人の尊重と法の支配」「民主主義」などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	民主的な社会生活に関わるさまざまな事象を基に、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	
	単元名(題材名)	基本的人権の尊重		指導時数	9
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	基本的人権の保障について、個人の尊厳を基礎に、自由権、平等権、社会権などの権利が保障されていることを理解していると、もに、現実の社会にある差別や偏見について、さまざまな資料を調べ、まとめている。	社会権が生まれてきた背景や新しい人権が広がってきた理由について、社会の変化や歴史的な経緯などから多面的・多角的に考察し、表現している。	基本的人権の保障を巡り、自由権、平等権、社会権など憲法で保障されている権利が、必ずしも守られていない状況に着目し、人権を巡る諸課題について主体的に調べ、まとめようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	
	単元名(題材名)	法の支配を支えるしくみ		指導時数	3
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	憲法が最高法規であることの意味、三権分立、違憲審査のしくみを理解し、憲法改正のしくみと課題について、さまざまな資料から調べ、図表などにまとめている。	法の支配を実現し、権力の濫用を防ぐために、憲法保障としてどのようなしくみがつくりられているのか、憲法保障のため国民はどのようなことができるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	18歳以上の国民は、憲法改正の国民投票を行うことができることに着目し、憲法の意義や憲法を巡る課題について主体的に追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その⑥）

月	単元名(題材名)	民主政治と私たち		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	民主政治を発展させるために必要なことについて、法律と権力の関係、間接民主制のしくみや政党とマスメディアの役割、選挙制度のしくみを理解し、日本の政党や選挙制度の課題について、さまざまな資料から調べ、まとめている。	公正な世論を形成し、民主政治を実現するために、国民一人一人が、メディアリテラシーを身に付けることの必要性や、公正な選挙を行うためにどのようなしくみが求められるのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。	18歳以上に投票権があることを認識し、公正な選挙制度のあり方や日本の選挙制度の課題について主体的に調べ、追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	
	単元名(題材名)	国の政治のしくみ		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	国会、内閣、裁判所の役割について、それぞれの機関のしくみと仕事の内容を理解するとともに、それぞれの機関の相互の関連性について、さまざまな資料から調べ、図表などにまとめている。	国民主権を守るという観点から、国会、内閣、裁判所の果たすべき役割と、それぞれの機関が抱える課題について多面的・多角的に考察し、表現している。	国会、内閣、裁判所と私たちの生活との関わりに着目し、将来、裁判員に選任される可能性があることを踏まえ、裁判のあり方や裁判員制度のしくみについて主体的に考察し、追究しようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	
	単元名(題材名)	地方自治と私たち		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	地方公共団体の仕事としくみ、政治参加のしかたを理解し、地方財政の抱える課題について、さまざまな資料から読み取り、図表などにまとめている。	若者の投票率が低いという問題点を、地方自治が「民主主義の学校」とよばれることや、政治参加することの意義などから多面的・多角的に考察し、表現している。	地方自治と私たちの生活との関わりに着目し、自分たちが近い将来、選挙権を持つことを意識し、選挙権の行使や地方自治のしくみについて主体的に調べ、まとめるようとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。

### 3 年間指導計画（その⑦）

11月	単元名(題材名)	経済のしくみと消費		指導時数	5
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	私たちの生活を豊かにするために消費者の役割と責任を理解しているとともに、国や地方公共団体は消費者の権利の尊重およびその自立の支援のために、消費者政策を推進する役割を担っていることを理解している。	分業と交換、希少性などに着目したり関連付けたりして、経済活動や市場経済の意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。	個人の消費生活に関する諸問題に着目し、主体的に問題解決しようとして、学習したことを自らの消費生活に生かそうとしていたりしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	
	単元名(題材名)	企業と生産		指導時数	6
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	企業の経済活動に関するさまざまな資料から、社会・経済の動きを適切に読み取り、企業活動のしくみや役割を理解し、勤労の権利と義務、労働組合の意義、企業の社会的責任などについて理解している。	企業の役割や責任、職業の意義および雇用と労働条件の改善について、さまざまな資料を基に課題を見出し、「対立と合意」「効率と公正」などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。	企業の経済活動について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	
12月	単元名(題材名)	市場経済と金融のしくみ		指導時数	4
	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	概ね満足な姿(B規準)	市場経済のしくみや価格の働きについて理解している。	市場経済における価格決定のしくみ、金融の役割、日本銀行の金融政策について、さまざまな資料を基に課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	通貨や金融に関する新しい動きについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	
	評価方法	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題など	定期テストⅡ、ロイロノート課題や振り返りなど	生徒の反応、振り返り	
	評価時期及び評価場面	定期テストⅡ、ワークシートやロイロノート課題	定期テストⅠ、ロイロノート課題、振り返り	生徒の反応、振り返り	

※概ね満足な姿はB規準であり、これより優れているものがA、これに満たないものをCと評価する。

※生徒の実態に応じて、指導時期や指導時数、評価時期の方が変更になる場合もあります。